

ともに生き、ともに育むまち

歴史と文化がくらしの中に息づく“新斑鳩の里”の実現にむけて

21世紀の最初の10年が過ぎましたが、本町をはじめ、わが国をめぐる社会経済環境は、今まで誰も経験したことのないめまぐるしい変化が起きており、まさに時代の転換期にあります。また、地方自治への流れは加速しており、自治体には自律的な地域経営と地域間競争に勝ち抜く魅力的なまちづくりが求められています。

そうした中であって斑鳩町では、住民に最も身近な基礎自治体として、第3次総合計画に基づき確実な歩みをすすめてまいりましたが、これからの新しい時代にふさわしいまちづくりの方向性を示し、多様な住民ニーズに応える地域を確立するとともに、住民の皆さまと行政の協働のまちづくりをすすめるための指針として、「第4次総合計画」を策定しました。

この新しい総合計画のスローガンである「ともに生き、ともに育むまち」には、住民の皆さまや行政が互いに協力して、このまちを育てていくという願いがこめられています。

私は、これからの10年間について、第4次総合計画を新たな目標としてまちづくりをすすめる、住民が主人公である新しい斑鳩を築いていきたいと考えています。

これからも、本町に「住みたい、住んでよかった、住み続けたい」と思える「愛すべきふるさと斑鳩」の実現にむけ、子どもや高齢者、障がいのある方々を地域で見守り、支援しながら、安全に安心して元気に生き生きとくらし、安心して産み育てることのできるまちづくり、さらには、町外からも多くの人に訪れていただき、人と人とが交流するにぎわいのあるまちづくりを進めていく所存です。

おわりに、この計画の策定にあたり貴重なご意見、ご助言を賜りました斑鳩町総合計画審議会委員の皆さまをはじめ、町民の皆さま、町議会議員の皆さまに心より感謝を申し上げます。

平成23年3月

斑鳩町長 小城利重

